

はつらつ 気軽に社会貢献

活動に応じてポイント獲得

元気な高齢者の社会参加を促そうと、神戸市が始めた「KOBESINIA元気ポイント」制度が注目を集めている。高齢者施設などで補助活動をするICカードを利用してポイントが付与される制度で、対象となるのは65歳以上の市民。すでに約680人が登録を済ませた。換金できるポイントがたまる楽しみを味わいながら、気軽に社会貢献活動に参加できる。活動を通じて、体を動かしたり人と接したりすることで心身の健康増進も期待できる。制度を利用して、はつらつと活動する高齢者取材した。

「はい、それポーンです」「お、やばいかな」

マーじゃん卓を囲む4人の手が止まり、元気な笑い声が響いた。閑静な住宅街が広がる神戸市須磨区高倉台6にある、言語リハビリ多機能型施設「ことばの道 デイサービス」。広々としたレクリエーション室で、中塚さよ子さん(74)は通所者の高齢男性3人とマーじゃんを楽しんでいた。

中塚さんは「KOBESINIA元気ポイント」を利用し、2021年10月から同施設で活動を始めた。毎週1回、午前10時から正午までが担当時間の消毒、庭の植栽への水やりなども担う。マーじゃんも通所者のリハビリ支援が目的だ。元気な中塚さんが加わることで場が活気づき、リハビリ効果が上がるという。

「以前から高齢者施設でお手伝いしたいと思っていたが、ボランティア団体に加わるのは負担に感じて。『元気ポイント』なら自分のペースで気軽に活動できると思った」と話す。

週1日2時間 リハビリ施設で清掃や交流

中塚さんは子育てや孫の世話が終わっても、趣味の洋裁などで忙しく過ごしていた。しかし、神戸市の広報紙で同制度を知り、「家にいるだけではよくない。誰かの役に立ちたい」と説明会に申し込んだ。いったんは別の高齢者施設に通い、ベッドメイクなどの活動に携わ

中塚さよ子さん



「誰かの役に立ちたくて」

つたが、コロナ禍で中断した。その後、自転車を通えるところに「ことばの道 デイサービス」が移転してきた。マーじゃん相手を求めていることにも興味があって、申し込んだ。「ルールも知らなかったけど、頭と手先を使うマーじゃんは高齢である自分の健康増進にもよいと思った」という。

活動中は優しい笑顔を絶やさない中塚さん。清掃中も、通所者や職員らから「ありがとう」と声がかかる。帰る直前には、設置された端末で敬老パスにポイントを記録する。中塚さんは「日ごろの生活の交通費になるので、とてもうれしい」と笑う。

同施設の安居道子代表理事は「通所者にとっては、中塚さんとのコミュニケーションがリハビリになる。コロナ禍で消毒などの作業が負担になっている職員にとっても支援がありがたい」と話している。



床の拭き取り

植栽の水やり
掃き掃除

65歳以上の神戸市民が対象 年に1回、ポイント換金

「KOBESINIA元気ポイント」制度は65歳以上の市民が対象の神戸市委託事業で、2020年10月に始まった。活動するとポイントがたまり、年に1回、現金と交換できる。

活動場所は、登録された高齢者施設(21年12月時点で110カ所)で、児童施設や障害者施設にも広げる予定。活動項目は、話し相手、配膳、移動補助、レクリエーション補助、清掃など8項目ある。

ポイントは、市の敬老パス、福祉パス、PiTaPaなどのICカードのいずれかに記録する。2時間未満で100ポイント、2時間以上で200ポイントが付与され、年間上限は8千ポイント。1ポイント1円、千ポイント単位で年度末に換金できる。

説明会が、各区や神戸・三宮で定期的開催されている。登録施設の一覧から活動先を選んだら自分で連絡し、面談のうえ日程、活動内容などを決定相談する。

詳細は同事務局のホームページで。説明会の申し込みは同事務局 ☎078・335・6543 (平日のみ)



KOBESINIA元気ポイントの「受入施設・活動者交流会」



KOBESINIA元気ポイントのホームページ